

スマート農業実地勉強会 2023 in 鳥取
— 中山間地域の水田作、露地野菜作におけるスマート化 —
開催要領

1. 趣旨

中山間地域では、農業者の高齢化などにより担い手による地域農業の維持・発展が求められていますが、圃場環境が厳しく生産性の向上は容易ではありません。しかし、そのような厳しい環境の中、令和元年度から開始したスマート農業実証プロジェクトでは、スマート農業技術を導入して、標高差による気候の違いを活用した露地野菜作の周年リレー出荷体系の高度化を図ったり、土壌診断や生育診断を実施して合理的な肥培管理を行い水田複合経営に活かすなど、中山間地域の水田作、露地野菜作において問題解決のための特徴的な取り組みが行われ、実用的な成果が実証されてきました。

そこで、これらの成果を鳥取県内の他地域などに広く展開するため、農業者などを対象に「見られる・試せる・体験できる」場として、実証圃場でのスマート農業技術の実演見学も含めた実地勉強会を開催します。

2. 共催

農研機構西日本農業研究センター、鳥取県、
とっとり農業イノベーション連絡協議会スマート農業推進部会

3. 開催日時

令和5年10月31日（火曜日） 13:00～16:30

4. 開催場所・方法

室内勉強会 米子コンベンションセンター第7会議室
(鳥取県米子市末広町294番地 TEL:0859-35-8111)
開催方法：会場参加とWEB配信のハイブリッド方式
現地見学会 (株)福成農園
(鳥取県西伯郡南部町福成1615-1 TEL:0859-21-7709)

5. 対象範囲

生産者、農業系大学・高校等の学生、関連企業、スマート農業実証プロジェクトコンソーシアム、
府県農業試験研究機関及び行政・普及指導機関、農林水産省、農研機構など

6. 内容

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 1) 開会挨拶 | 13:00～13:10 |
| 農研機構西日本農業研究センター所長
鳥取県西部農業改良普及所長 | |
| 2) 室内勉強会 | 13:10～14:40 |
| (1) 情勢報告 | 13:10～13:40 |

① スマート農業実証プロジェクトの取り組みについて

農研機構みどり戦略・スマート農業推進室 みどり戦略・スマート農業コーディネーター
大黒正道

② みどりの食料システム戦略について

中国四国農政局生産部生産技術環境課 課長補佐（新技術実装） 加藤隆文

③ 鳥取県におけるスマート農業の推進

鳥取県農林水産部農林水産政策課政策調整担当 係長 澤口敬太

(2) 事例紹介

13:40～14:40

① 標高差による気候の違いを活用した広島型キャベツ 100ha 経営を可能にするスマート農業

県立広島大学生物資源科学部生命環境学科 教授 三苫好治

(株)vegeta 代表取締役 谷口浩一

② 次世代につなぐ水稲・白ネギを柱にした中山間地域水田複合経営のスマート化

鳥取県西部総合事務所農林局西部農業改良普及所 普及主幹 長戸竜志

(株)福成農園 代表取締役 野口龍馬

移動（マイクロバス利用）

14:40～15:10

※ 現地見学会場には駐車スペースがありませんので、自家用車での移動は原則禁止します。

※ 現地見学会終了後、マイクロバスで米子コンベンションセンターに戻ります。

3) 現地見学会

15:10～16:30

自動操舵トラクタ（緑肥作物の播種）、GPS レベラー、ドローンなど

4) 閉会

7. 参加費：無料

8. 定員

室内勉強会 定員 70 名（定員になり次第、締め切ります。）

WEB 参加者の定員 300 名程度

現地見学会 定員 70 名（定員になり次第、締め切ります。）

9. 申込方法

10月16日（月曜日）までに、下記 URL からお申し込みいただくか、参加申込書（別紙1）に所要事項を記載して、以下のメールまたはFaxにてお申し込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/625dbc0b200795>

10. 申込先・問い合わせ先

農研機構 西日本農業研究センター 研究推進部 大黒正道（だいこくまさみち）

電子メール：smart-hukyu@ml.affrc.go.jp

Fax：0877-63-1683 電話：0877-63-8130